

令和3年度 自己評価

のびっ子保育園

(評価項目 A:できている B:ほぼ出来ている C:あまりできてない)

No.	評価内容	回答者数	A	B	C
-----	------	------	---	---	---

1. 保育の理念・保育観

1	全ての子どもについて一人ひとりの存在とその人権を尊重している	16	10	6	
2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの生活、健全な発達を保障することが保育園の重要な使命だと理解している	16	12	4	
3	あなたの保育が子どもの生涯を培う極めて大切な役割を担っていると認識している	16	10	6	
4	保育所保育は環境を通して養護と教育が一体となっていて行われているということ意識して保育をしている	16	11	4	1
5	個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なくもろすことがないようにしている	16	13	3	
6	育児の考え方について、保護者とあなたが食い違っている時、まず相手の気持ちを受け止め、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するように努めている	16	10	6	
7	ひとり一人の子どもに目が行き届いていたかを振り返り、これからの保育の課題を見つけることができている	16	5	11	

2. 保育の内容

<保育計画・保育内容>

1	子ども一人一人の発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月案等を作成している	10	3	7	
2	指導計画を作成するとき「保育所保育指針」を読み参考にしている	10	1	4	5
3	月案等には教育的側面と養護的側面をしっかりと盛り込まれている	10	3	7	
4	月案等には子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されている	10	3	6	
5	季節感や日本の伝統的な行事など指導計画の中に取り入れるようにしている	10	4	6	
6	園の保育理念・目標を保護者にわかりやすく説明することができる	10	0	4	6
7	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で月案・週案などを立てている	10	3	7	
8	指導計画を園の方針や「保育の内容に関する全体的な計画」に基づいて作成している	10	3	6	1
9	障がい児が入園した時、安全管理や個別対応等その子を受け入れるための保育を積極的に進めようと考えている	10	4	5	1

<乳児保育>

1	調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っている	8	6	2	
2	授乳について、その子が欲しがるときに優しく抱いて微笑みかけゆったりと飲ませている	8	6	2	
3	初めての食品を園で食べないよう食材管理表を確認し、保護者と連携を取っている	8	5	3	
4	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージと受け止め、微笑み、要求に応じる言葉を優しく返している	8	7	1	
5	喃語にはゆったりと応えたり、優しく話しかけたりして、発語の意欲を育てている	7	6	1	
6	ひとり一人の生活リズムや欲求、その日の体調等を把握したうえで睡眠時間を調節したり、柔軟性をもち合わせている	6	4	2	
7	連絡帳を活用し、保育園以外での子どもの様子を把握するよう努めている	6	3	3	

<1・2歳児保育>

1	大勢の子どもを保育する時でも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら個別対応の工夫をしている	8	5	3	
2	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉かけをしながら時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしている	8	7	1	
3	「できない」「やって」と甘えてくるときは、その都度その子の気持ちを受け止め、ひとり一人の発達に応じて要求を満たす援助をしている	8	6	2	
4	子どもと会話する時に、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、話したい気持ちや伝わった喜びを共感している	8	6	2	
5	「これなんだろう?」と好奇心や興味を引きおこす教材、場の環境を構成している	7	2	5	
6	わがままで「いやだ」という子どもの内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしている	8	2	6	

(評価項目 A:できている B:ほぼ出来ている C:あまりできてない D:できていない)

No.	評価内容	回答者数	A	B	C
-----	------	------	---	---	---

<3歳以上児保育>

1	子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて信頼関係をつくる努力をしている	8	3	5	
2	子どもが自己表現できるように、その時々の子どもの気持ちを読み取り、どの子も自分が愛されていると実感できるように接している	8	4	4	
3	少しでも普段と違う具合の悪そうな子どもに気づいたら、自分から体の不調を訴えられるように、優しく問いかけている	8	2	6	
4	季節感を味わえる環境を整えたり、心地よい音楽を流すなど、和やかにくつろいで過ごせる室内の環境づくりを心掛けている	6	1	4	1
5	「食育」の考え方を大切にし食事を「楽しく」「おいしく」を味わえるようにテーブルの配置や飾りつけなども工夫している	6	1	4	1
6	子どもが配膳の手伝いなど、食事に興味を持てるような機会を作るようにしている	8	1	7	
7	トイレに行くことをせかしたり、強制したりせずに、ひとり一人の排泄の欲求に合わせている	7	3	4	
8	子どもがいろいろな楽しさを味わうため、散歩など戸外に出かける機会を積極的に多くとり入れている	6		3	3
9	子ども一人ひとりの背景や保護者の状況を理解し、受け止めて、安心して甘えられるようにその子の気持ちに寄りそい支えている	8	4	3	1

3. 安全・衛生・危機管理

1	睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなどSIDS等への予防に努めている	16	10	5	1
2	アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどの子どもに対して、医師の基に適切に対応している	15	9	6	
3	日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には園長に伝えるなどの防止策を考えている	16	10	6	
4	備品棚やピアノ等の転落防止、その他事故が起こらないように保育室内外の安全点検を毎日怠らないように努めている	15	6	8	1
5	地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時に何をしなければならぬかを理解している	13	7	5	1
6	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っている	15	1	9	5
7	排便や嘔吐等の処理にあたっては、手洗いの徹底、使い捨て手袋の使用など感染防止に努めている	16	11	5	
8	日常的な事故防止のために、ヒヤリ・ハットした出来事を記録し分析している	15	1	4	10

4. 保護者の育児支援

1	子どもの送迎時に子どもの様子を伝えている	13	8	5	
2	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接している	11	8	2	
3	日ごろより、保護者や子どもの様子を重視し、虐待防止や早期発見に努めている	11	5	6	

5. 職員の資質向上

1	子どもの発達保障や、子どもの最善の利益を考慮した保育をすすめるために、園内外の研修に積極的に参加している	11	2	7	2
2	保育実践について園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌等の記録が書けている	11	4	7	
3	自分の保育実践について、同僚から意見を聞くように努めている	13	4	6	
4	自己評価などで課題を見つけ、その課題解決のために計画的に自己研鑽をしている	13	2	3	8
5	言葉遣いに気をつけ、常に笑顔を心掛けている	16	6	9	1
6	自己の健康管理ができている	16	5	10	1
7	決められた規則、手続き、期日を守っている	15	7	1	7
8	職員間において常に報告・連絡・相談の体制ができている	15	5	9	1
9	活動の目的、または問題意識の共有などを職員間で共通理解し努力している	16	3	12	1
10	後輩に適切な助言やフォローができるよう心掛けている	14	2	10	2
11	他人の(保護者)の心情、立場を理解し、物事を判断し援助している	14	4	10	

6. 総評

今年度もコロナ禍において、例年通りの行事を行うことはできなかったが、子どもの経験が不足しないよう工夫をしながら、新たな行事の取り組みを考え行った。

常に子どもの人権や一人ひとりの個人差などに十分配慮し、関わることができた半面、保育計画や、内容において保育所保育指針・保育理念の理解が低かった。今後定期的な園内研修において、保育所保育指針を学ぶ機会を設け個々の意識、学びの向上に繋がっていくようにしたい。保育所保育指針に基づいた園の保育計画や保育目標について理解を深め、意識して実践出来るように取り組んでいきたい。また、危機管理において不審者対応やヒヤリハットも低評価である。防災、安全の意識を高めていくため、様々な事態や自然現象を想定して訓練を図り、ヒヤリハット情報や報告書作成の徹底、マニュアルを読み返すなど危機管理の大切さを学びなおす機会を設けていくようにする。

様々な会議や研修の機会を多く持ち保育士としての知識や意識を高めていきながら今後も子ども一人一人を大切にし保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指します。